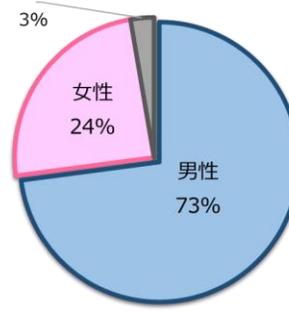


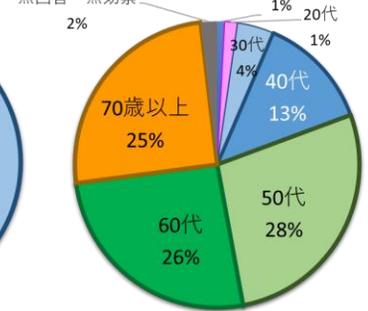
## ◇アンケート回収件数

分類	件数 (割合)
神奈川県内構想ルート沿線市町 (小田原市)	235 (49%)
神奈川県内構想ルート沿線市町 (真鶴町・湯河原町)	46 (10%)
神奈川県内構想ルート沿線市町以外	97 (20%)
静岡県内構想ルート沿線市町 (沼津・長泉・三島・函南・熱海)	47 (10%)
静岡県内構想ルート沿線市町以外 (市町不明含む)	29 (6%)
神奈川県・静岡県以外	12 (2%)
住所不明	14 (3%)
合計	480 (100%)

## ◇性別

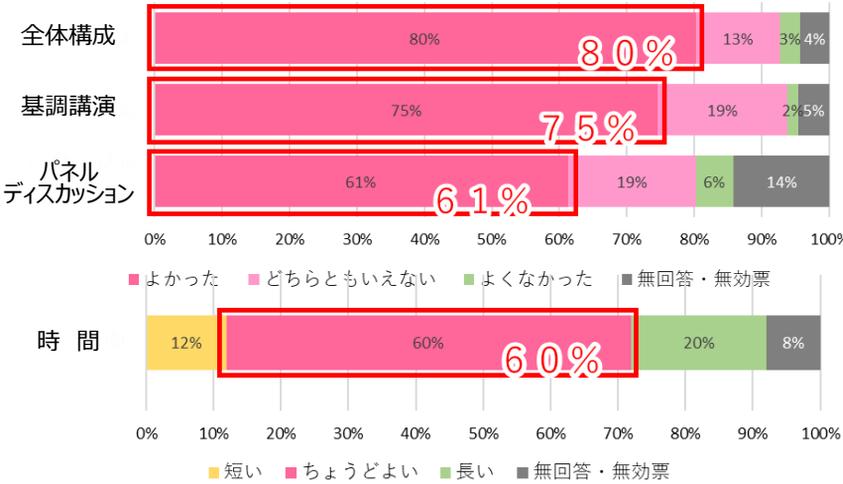


## ◇年齢



- シンポジウムの全体構成について、80%の方が「良かった」と回答
- 伊豆湘南道路について、77%の方が「知っていた」または「聞いたことがある」と回答し、さらに、本シンポジウムで85%の方が「理解が深まった」と回答
- 伊豆湘南道路に期待することとして、「①災害等に強く、迂回可能な道路網がつけられること」、「③移動時間が短縮されること」に期待する方が97%と最も高かった。それ以外の項目についても全て85%を超えている。
- 構想ルート沿線市町以外からも2.6%の方が参加、ほぼすべての方が伊豆湘南道路に期待していると回答

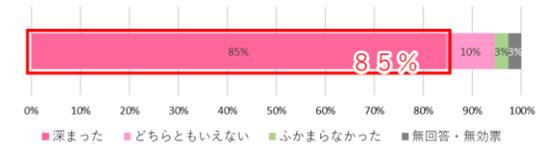
## ■シンポジウムの感想



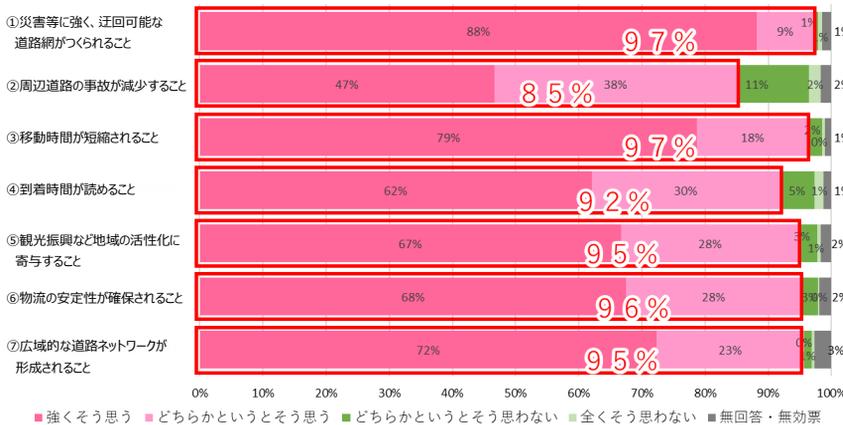
## ■伊豆湘南道路の認知度(シポ・ジウム前)



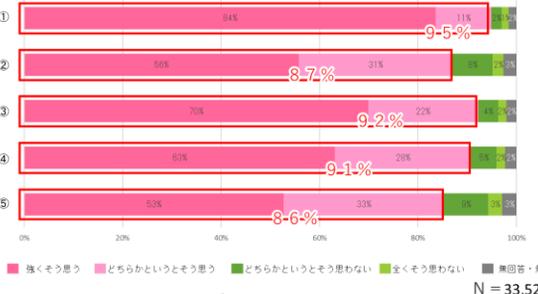
## ■伊豆湘南道路の理解度(シポ・ジウム後)



## ■伊豆湘南道路に期待すること



## ■求められる機能・役割



※アンケート項目は、伊豆湘南道路シンポジウムアンケートの伊豆湘南道路に期待すること①～⑤と同じ

## ■自由意見 (抜粋)

- 災害時に影響が無いように早急に対応していただきたい。135号の渋滞解消を強く望みます。休日のみならず、伊豆方面へ気軽に行けるようになって欲しい。(小田原市・Aさん)
- 台風になると真鶴は陸の孤島になってしまう事がある。能登半島地震で道路の必要性が大きくなった。(真鶴町・Bさん)
- シンポジウム等で示された地域の機運の盛り上がり、期待を国や県にしっかりと伝え、実現に結び付けてください。(横浜市・Cさん)
- 道路には交流人口を進める役割もあります。沼津と小田原の交流が盛んになる事を願っています。(沼津市・Dさん)
- 渋滞緩和と災害時の活用としても絶対に必要不可欠です。早期実現に向けお願いします。(埼玉県・Eさん)
- 道路を開通して、機能別に分散させるのは良い事である。でも自然を破壊しないでほしい。(南足柄市・Fさん)